

弱さと強さ

シリーズ～チェンジ～

2016/4/24

ナジル人 <士師記13~16章>

- ・士師の時代、不妊であったダン族のマノアの妻に主は子どもを与えられた
- ・その子は生まれる前から“ナジル人”的誓いを守らなければならないと主は命じられた
 - ・「今後、ぶどう酒や強い飲み物を飲まず、汚れた物も一切食べないように気をつけよ。あなたは身ごもって男の子を産む。その子は胎内にいるときから、ナジル人として神にさげられているので、その子の頭にかみそりを当ててはならない。彼は、ペリシテ人の手からイスラエルを解き放つ救いの先駆者となろう。」士師記13:4-5
 - ・「イスラエルの人々に告げてこう言いなさい。男であれ、女であれ、特別の誓願を立て、主に献身してナジル人となるならば、」民数記6:2

弱いサムソン①

- ・サムソンは敵のペリシテ人の娘を好きになった
 - ・「サムソンはティムナに下って行ったが、そのティムナで一人の女、ペリシテ人の娘に目をひかれた。」14:1
- ・両親は止めたが、サムソンは耳を貸さなかつた
 - ・父母は言った。「お前の兄弟の娘や同族の中に、女がないとでも言うのか。無割礼のペリシテ人の中から妻を迎えようとは。」だがサムソンは父に、「彼女をわたしの妻として迎えてください。わたしは彼女が好きです」と願った。14:3

強いサムソン①

- ・サムソンはティムナに行く途中ライオンと出くわしたが、これを素手で倒した
 - ・「そのとき主の靈が激しく彼に降ったので、彼は手に何も持たなくとも、子山羊を裂くように獅子を裂いた。」14:6
- ・別の日に行くと、ライオンの屍にミツバチが巣を作っていたので、サムソンはそれを結婚式のなぞなぞにした
 - ・サムソンは言った。「食べる者から食べ物が出た。強いものから甘いものが出た。」彼らは三日たつても、このなぞが解けなかった。14:14

弱いサムソン② 強いサムソン②

- ・サムソンは妻に泣いて頼まれたので,なぞなぞの答えを教えてしまった
 - ・「宴会が行われた七日間、彼女は夫に泣きすがつた。彼女がしつこくせがんだので、七日目に彼は彼女に明かしてしまった。」14:17
- ・ペリシテの別の町を襲い,なぞなぞの賞品を手に入れた
 - ・「そのとき主の靈が激しく彼に降り、彼はアシュケロンに下って、そこで三十人を打ち殺し、彼らの衣をはぎ取って、着替えの衣としてなぞを解いた者たちに与えた。」14:19
- ・サムソンの妻は別の男性の妻となった

サムソン,恨みを買う

- ・結婚したはずの妻を奪われたサムソンは、ペリシテの畠を焼き払った
 - ・ジャッカル300匹の尾に松明をくくりつけてペリシテの畠に放った
- ・ペリシテ人は怒って,サムソンの妻と父を焼き殺した
- ・サムソンはペリシテ人に報復した
- ・ペリシテ人はユダ(ダン族の隣)の地域に攻め上ってきた

強いサムソン③

- ・ペリシテ人を恐れたユダの人々は、サムソンを縛って引き渡した
 - ・ユダの人々三千人が、…サムソンに言った。「我々がペリシテ人の支配下にあることを知らないのか。なんということをしてくれた。」15:11
- ・サムソンは縛っていた縄を引きちぎり、ろばのあご骨でペリシテ人千人を打った
 - ・「サムソンがレビに着くと、ペリシテ人は歓声をあげて彼を迎えた。そのとき、主の靈が激しく彼に降り、腕を縛っていた縄は、火がついて燃える亞麻の糸のようになり、縄目は解けて彼の手から落ちた。彼は、真新しいろばのあご骨を見つけ、手を伸ばして取り、これで千人を打ち殺した。」15:14-

弱いサムソン③

- ・サムソンは再びペリシテ人の女性デリラを好きになった
- ・ペリシテ人の領主たちはデリラにサムソンの力の秘密を探るよう頼んだ
 - ・ペリシテ人の領主たちは彼女のところに上って来て言った。「サムソンをうまく言いくるめて、その怪力がどこに秘められているのか、…探ってくれ。そうすれば、我々は一人一人お前に銀千百枚を与えよう。」16:5

弱いサムソン④

- ・デリラに頼まれたサムソンは3度嘘をついた
 - ・「乾いていない新しい弓弦七本で縛れば」
 - ・「まだ一度も使ったことのない新しい縄でしっかりと縛れば」
 - ・「わたしの髪の毛七房を機の縦糸と共に織り込めば」
- ・しつこく迫られ、結局真実を打ち明けてしまう
 - ・来る日も来る日も彼女がこう言ってしつこく迫ったので、サムソンはそれに耐えきれず死にそうになり、ついに心の中を一切打ち明けた。「わたしは母の胎内にいたときからナジル人として神にささげられているので、頭にかみそりを当てたことがない。もし髪の毛をそられたら、わたしの力は抜けて、わたしは弱くなり、並の人間のようになってしまう。」16:16-17

強いサムソン⑤

- ・髪を切られたサムソンは力を失い、ペリシテに捕らえられる
 - ・「ペリシテ人は彼を捕らえ、目をえぐり出してガザに連れて下り、青銅の足枷をはめ、牢屋で粉をひかせた。しかし、彼の髪の毛はそられた後、また伸び始めていた。」16:21-22
- ・見せ物にするために祝宴に引き出されたサムソンは、自分の命と引き替えにペリシテ人三千人を打った
 - ・サムソンは主に祈って言った。「わたしの神なる主よ。わたしを思い起こしてください。神よ、今一度だけわたしに力を与え、ペリシテ人に対してわたしの二つの目の復讐を一気にさせてください。」16:28



「弱さ」について

- ・人間には「弱さ(弱点)」がある
 - ・アブラハム:優柔不断
 - ・ヤコブ:自分の知恵に頼りすぎる
 - ・モーセ:忍耐力がない
 - ・ヨハネ:短気(きれやすい)
 - ・ペトロ:思慮が浅い(慎重さに欠ける)
 - ・ギデオン:臆病
- ・「弱さ」は罪ではないが,神様に用いられる際の障害になる
 - ・ほとんどのケースは主が教育される(チェンジ)

サムソンの弱さと強さ

- ・女性に対する弱さ
 - ・敵の女性を好きになる×3
 - ・女性にせがまれて秘密を打ち明ける×2
- ・経験から学ばない!
 - ・最後に痛い目に会う
- ・力の強さ
 - ・「主の靈が激しく彼に降」ったときに与えられた
- ・用い続けられる主の忍耐強さ!
 - ・主は,サムソンの弱さを,彼の強さが發揮できる機会として用いられた

サムソンの弱さと強さ

- ・女性に
- ・敵の
- ・女
- ・経験に
- ・最後
- ・力の弱さ
- ・「主
- ・用いられ
- ・+ +

この大祭司(キリスト)は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかつたが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。

ヘブライ4:15